

平成 30 年 7 月 30 日

交野市環境事業所から倉敷市真備地区に廃棄物収集運搬の災害支援で来ています。これまでも、報道などで被災地の現状について少しは情報を持ってきたつもりでしたが、実際に被災地に来て、街中に溢れる廃棄物にたいへん驚きました。

私たち交野市環境事業所は、倉敷市に到着すると、すぐに倉敷市環境センターにお邪魔し現地の状況などの説明を受けました。その後、現地へ赴き被災された方の住宅前に排出された災害廃棄物（浸水した家屋の廃材、畳、浸水した家財道具、陶器類、ガラス類、トイレの便座、土塀の竹等）の収集運搬を行いました。

一般廃棄物の収集運搬業務は交野市内において 20 年以上経験している我々も、災害廃棄物の収集は初めての経験でした。浸水した家屋の木材など、排出されているものは、沢山の「クギ」が飛び出していたり、長い柱の木材など様々な種類のものがあります。

通常の粗大ごみ収集であれば、一度にたくさんの廃棄物を抱えごみ収集車に投入しますが、怪我や事故に最大限注意しながらの作業になりますので時間と手間を要します。

被災地において、収集時の分別は最低限のもので、家電リサイクル対象品目（テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコン）以外の物は、ほとんどの物をごみ収集車に積み込み、排出場所で分別をされていました。

沢山の土砂の入った「土嚢」も排出されており、倉敷市の担当者によると「収集対象として、ごみ収集車で、がれきと共に積み込んで運搬していただきたい」と依頼を受けました。

地域には、想像を超える廃棄物で「まち」全体が溢れかえり、報道では知ることのできなかった「におい」「土埃」「暑さ」との戦いもあります。

災害廃棄物の収集運搬に必要な、知識経験、必要な装備の確認等の大変貴重な経験をさせていただいていると思います。

交野市を代表し、被災地の皆さんの生活が 1 日でも早く戻るよう、同じく災害派遣されている、自衛隊の皆さん、他自治体からの応援の皆さんと共に精一杯頑張っています。

この経験が交野市における災害対策の財産となるよう様々な事を学び、吸収し経験してまいります。

交野市環境部環境事業課

倉敷市真備地区災害廃棄物収集運搬支援派遣隊 須見昌広